

認知症とはどんな病気？

(1) 認知症とは？

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまうほか、働きが悪くなったためにさまざまな障害が起こり、生活するうえで支障が出ている状態をいいます(6ヶ月以上継続した状態)。

(2) 原因となる主な病気

主な病気は次の4つが挙げられます。

アルツハイマー型認知症

- ・脳の神経細胞が減少し脳全体が委縮します。
- ・記憶障害がみられ、進行すると場所や時間、人物などの認識ができなくなります。他の症状としては段取りが立てられなくなります。



脳血管性認知症

- ・脳出血や脳梗塞が原因で脳神経細胞に障害が起こります。
- ・主な症状としては、後遺症による歩行障害や言語障害にあわせて、記憶障害などがみられます。



レビー小体型認知症

- ・脳内の神経細胞内に「レビー小体」という特殊なたんぱく質が脳にたまり、脳の側頭葉と後頭葉の委縮がみられます。
- ・記憶障害がみられアルツハイマー病やパーキンソン病に似た症状がみられます。
- ・幻視や幻聴、筋肉のこわばりといったパーキンソン症状などを伴います。

前頭側頭型認知症

脳の神経細胞が前頭葉と側頭葉中心に萎縮していくために、他人に配慮することが出来ない、周りの状況にかかわらず自分の思った通りの行動をするといった行動異常がみられます。

(3) 認知症の症状

認知症の症状は「中核症状」と「行動・心理症状」の二つがあります。

※ 中核症状への不安や認知機能低下に、本人の性格や環境、心理状態が作用して「行動・心理症状」が引き起こされます。

